

ドライバー遺伝子変異を持つ肺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の有効性について

1. 研究の対象

2017年1月～2021年6月に当院呼吸器・アレルギー内科で肺癌と診断された患者様。

2. 研究目的・方法

EGFR 遺伝子、ALK 遺伝子、ROS-1 遺伝子、BRAF 遺伝子のドライバー遺伝子変異を持つ肺癌症例に対して免疫チェックポイント阻害薬の効果について検討していきます。研究期間：倫理委員会承認日～2024年12月31日まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、ドライバー遺伝子変異の結果、PD-L1 抗原の発現量、臨床経過など。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知県南国市岡豊町小蓮 185-1

高知大学医学部呼吸器・アレルギー内科学教室

研究責任者：山根 真由香

電話：088-880-2345

-----以上